

チャレンジテストの国語の設問(大問五『仮名草子集』)についての指導資料

令和3年10月18日  
大阪府教育庁小中学校課

1. 本資料について

令和3年度中学生チャレンジテスト(第3学年)国語の大問五『仮名草子集』について、「題材の内容から、皮への忌避意識や差別につながるのではないか」「子どもによって様々な受け止め方があるので、この題材を扱う時には説明が必要ではないか」「保護者が皮革産業に携わっている子ども、太鼓クラブに入っている子どもなどへの配慮が必要ではないか」などの意見が寄せられました。

府としては、すべての問題を人権的配慮のもと作成しております。本題材は、とんち話として生徒が興味をもって取り組むことができると考えておりましたが、テストを受けた生徒が、皮そのものや皮革製品を扱う仕事に従事している人への忌避意識や差別意識をもつこと、また、不安を抱くことは本意ではありません。そこで、改めて生徒への丁寧な説明や指導が必要と考え、お願いするものです。

本資料を活用し、各学校においてチャレンジテストの復習等を行う際の改めてのご指導をよろしくお願いします。

2. 指導の流れ(参考)

◆目的

- ・作品(一休のとんち話)についての多様な見方を知る。
- ・人権問題についての正しい理解を深め、人権問題の解決に向けて、差別をなくそうとする態度を養う。

活動	指導のポイント	留意点
①題材の内容を理解する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○どのような話が現代語訳を参考に確認する。</li> <li>・とんちの内容は、「寺では夜昼三度ずつ太鼓にばち(撥)を当てること」と「寺に皮袴を着ている人が入るとばち(罰)が当たること」を付けていること。</li> <li>○後述の③の活動とつなげるために、作品の時代設定をおさえる。</li> <li>・一休和尚は室町時代に実在した僧。</li> <li>・この作品は江戸時代に作られた。</li> <li>※一休和尚を題材とした読み物「一休ばなし(とんち話)」が江戸時代に作られ、「仮名草子集」に収録されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて現代語に訳すなど、生徒が内容を理解できるようにする。</li> </ul>
②この作品の別の見方を知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○とんちの内容が差別につながるの見方もあることを示す。</li> <li>・作品中の「皮の類は禁制で、皮袴を着て寺に入ると必ず罰が当たる」や「あなたにも太鼓の撥を当てますよ。皮袴を着ているのだから」という内容に、皮への偏見や皮革製品を扱う仕事をしている人への差別の気持ちがあるのではないか。</li> <li>※「寺内への皮の禁制」については、物語上の話であることをおさえる。</li> <li>※生徒が、どう読み取ったか意見交流することも考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者が皮革産業に携わるなど、不安を抱いている生徒がいることを想定し、生徒の表情の変化に注目するなど、様子を注意深くみる。</li> </ul>
③作品の別の見方の背景を考える	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一休和尚の生きた室町時代と作品ができた江戸時代の様子を知る。</li> <li>・室町時代の人々は、死・出血・病気など、自分の理解や力の及ばないできごとをおそれていた。また、それらにかかわった人々が社会から疎外され、差別されることもあった。</li> <li>・皮革製品は、死んだ牛馬を解体し、その皮を加工して作られるため、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科での学習状況を確認しておく。</li> <li>※社会科教科書での記述も参考にしてください。</li> <li>あわせて、人権教育リー</li> </ul>

	<p>その仕事に従事する人も、死などにかかわるとして差別されることがあった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この作品ができた江戸時代には、社会科で学習したように、百姓や町人とは別の身分とされ厳しく差別されるようになった。幕府や藩は、住む場所や職業、服装、他の身分の人々との交流などを制限した。そのため、人々の差別意識が強まった。</li> <li>・このような時代背景から、「この作品の内容が、当時の人々の差別意識を表している」という考え方もできる。</li> </ul> <p>○皮革についての認識を深めさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・そもそも、皮革という素材は、太鼓、靴、カバン、衣服、ベルト、財布など、私たちの生活の様々なところで使われている。</li> <li>・動物の皮を加工し皮革製品にするためには、高い技術力が必要で、他の伝統技術と同様に、専門の職人によって受け継がれてきている。</li> <li>・皮革にかかわっての偏見や差別は不合理なもの。</li> </ul> <p>○差別をなくすための社会の動きについて、振り返らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・厳しい差別に苦しんでいた人々は、差別をなくし、平等な社会の実現のために自ら立ち上がった（全国水平社の結成、水平社宣言）。</li> <li>・現在でも社会には、歴史の流れの中で形づくられてきた差別や偏見が残っており、2016年には差別解消のための法律（部落差別解消推進法）が制定された。学校や社会全体（物語の舞台となっている宗教関係者も含めて）で差別をなくすための取り組みが行われている。</li> </ul>	<p>フレットも参照していただくと同和問題についての理解が深まります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・皮革産業についての認識を深めるための教材・資料 「職人の技」 「おじいちゃんの命」</li> <li>・差別をなくすための社会の動きについて理解を深めるための教材・資料 「全国水平社の結成」 「部落史を歩く」 部落差別解消推進法リーフレット</li> </ul>
④まとめ	<p>○生徒が自らの考えを深め、今後の生活につながるように終える。</p> <p>《例》</p> <p>「この作品について、あらためて、どのように考えましたか？」</p> <p>「これからの自分を考えたとき、今回の授業で、心に残ったこと、忘れてはいけないと思ったことは何ですか？」</p> <p>「今の社会や自分たちの生活を振り返ったとき、平等な社会の実現のために、課題と思うことは何ですか？」</p>	

### 3. 同和問題について学習するための教材や資料

- ・「職人の技」 ・「おじいちゃんの命」 ・「部落史を歩く」

※上記3つの教材は「人権教育教材集・資料（CD）」に掲載

- ・「全国水平社の結成」（人権教育のための資料9）

#### 《教職員向け資料》

- ・人権教育リーフレット「差別の中を生きた人々（室町・江戸時代）」「差別解消の取り組み（明治時代以降）」（大阪府教育センター）
- ・部落差別解消推進法リーフレット（公益財団法人人権教育啓発推進センター）